

科目名	現代社会と福祉						
授業形態	講義	学年	全学年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	鈴木 勲						

内容および計画	社会福祉を支える基本的な理念のひとつである「よりよく生きること」をキーワードにしながら、社会福祉の現代的な意義、社会福祉の歴史や法制度、福祉サ・ビスの内容等について学ぶ。また、各分野(子ども・高齢者・児童・公的扶助)の社会福祉の実態からさまざまな課題を認識し、これまでの社会福祉の歩み、これからの社会福祉の課題を考察する。
1	ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。
2	現代社会における社会福祉の意義 今日的な社会福祉の基本的な考え方を理解する。
3	児童の人権・権利擁護と社会福祉 社会福祉の基本的視点である人権擁護について理解する。
4	社会福祉の法制度と実施体系 保育士を含め社会福祉実践に従事する者に対して求められる法律体系、社会制度、福祉行財政、社会保障などについて基本的な事項を学ぶ。
5	社会福祉における相談援助 (原則・原理) ソーシャルワークが蓄積してきた原則・原理を学ぶ。
6	社会福祉における相談援助 (援助技術) ソーシャルワークが育んできた展開過程を理解し、問題解決のための具体的な援助技術を身に付ける。
7	社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 利用者保護制度の今日的な意義を明らかにし、その仕組みや内容の理解を目指す。
8	児童家庭福祉 子どもという存在の特徴からくる児童家庭福祉に固有の視点や配慮すべき視点を学ぶ。
9	高齢者福祉 高齢者福祉の理念や法律と実施体系などについて学ぶ。
10	障がい者福祉 障がいの概念と分類、障がい者福祉の法律と実施体制などについて学ぶ。
11	地域福祉 地域福祉の概念や地域と福祉の組織化などについて学ぶ。
12	社会福祉を支える人たち 社会福祉専門職の現状と課題について学ぶ。
13	海外の社会福祉の動向 世界の社会福祉の発展に影響を及ぼしたイギリス、アメリカ、北欧などの社会福祉の特徴、現状、課題などについて学ぶ。
14	社会福祉の動向と課題 少子高齢化社会への対応、在宅福祉、地域福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療などとの連携ネットワーク、社会福祉の国際化について学習する。
15	全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、課題となるレポートについての説明も行う。

教科書	特にテキストの指定は行わない。必要な資料は授業時に毎回配布する。
-----	----------------------------------

参考書	社会福祉小六法 ミネルヴァ書房編集部 小六法は、どの出版社のものでもよいが新しい年度のものとする。
-----	---

成績評価	評価方法	割合
	学期末のレポート	40%
	リアクションペーパーへの記入状況	60%
全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。		

学習到達目標	1.現代社会における社会福祉の意義を理解する。 2.社会福祉の基礎的な知識を体系的に理解する。 3.社会福祉の動向を分野別に理解する。 4.今日の生活問題や福祉問題を構造的に理解する。
--------	---

先修条件	特になし。
------	-------

その他	新聞及び文献をとおして、普段から生活問題や社会問題、社会福祉に関する記事に注目し、何らかの問題意識を持って受講すること。授業展開は予定であり、授業の進捗などにより、内容などが変更される場合もある。
-----	--

